



「百聞は一見にしかず」 されど 「百見は一験にしかず」

ことわざ「百聞は一見に如かず（百聞不如一见）」は漢書（趙充国伝）の中の言葉ですが、この続きをいろいろな人が造った言葉があります。例えば、「百見は一考に如かず」「百考は一行に如かず」「百行は一果に如かず」つまり、聞いて、見て、考えて、行動して、成果をあげるといことだそうです。また、松下電器の創始者である松下幸之助氏は「百聞百見は一験にしかず」と言ったそうです。まずは自ら行動を起こし、体験してみることが大切ということです。何事に対しても失敗をおそれず挑戦（チャレンジ）してみることですね。

生徒会立会演説会から！

4月8日（火）に、前期の生徒会立会演説会が行われました。定数は、会長1、副会長4（男2、女2）、書記2（男1、女1）、会計2（男1、女1）の9名でしたが、2・3年生から20名の生徒が立候補しました。麻生一中の生徒会活動を盛り上げ、みんなが楽しく充実した学校生活を送ることができるように真剣に考えていることが伝わってきました。定員があるため、全員が当選というわけにはいきませんでした。何よりも、こうした活動に積極的に参加し、挑戦してくれたことに拍手を送りたいと思います。

また、立候補者の演説も立派でしたが、聴く側の生徒も真剣な態度で聴いていました。麻生一中生のすばらしいところです。今後の活動に期待したいと思います。

主役は、生徒一人一人、

「あなた自身です。」



生徒会立会演説会より

前期生徒会役員一覧（敬称略）

会 長	原 目 3-2			
副会長	矢 幡	3-1	田 島	3-2
	小 沼	3-1	長 峰	3-2
書 記	千 葉	2-2	高 野	2-1
会 計	吉 田	3-1	横 山	3-2

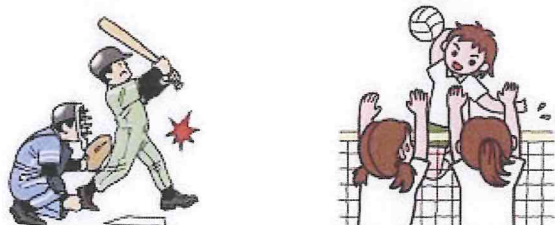
1年生の部活動が決まりました！

5月に入り、学習や運動など何をするにも最適な季節となりました。1年生も、全員が部活動に入りました。ゴールデンウィーク後には本格的な練習に入ります。

部活動の主な目的は次のとおりです。

- ・健康、体力づくり
- ・協調性、社会性の育成
- ・仲間・友達づくり
- ・スポーツに親しむ態度の育成
- ・精神力、責任感の育成

何をするにも、健康な体が基本ですが、部活動を通して、「心」と「体」を鍛えながら、人間的にも成長して欲しいと思います。



部活動 学年別人数表（5/6現在）

部 活 動 名	1 年	2 年	3 年	計
野 球 部	6	10	11	27
サ ッ カ ー 部	10	10	5	25
テ ニ ス 部	8	6	2	16
ハンドボール部男子	4	4	5	13
ハンドボール部女子	3	4	2	9
バスケットボール部	1	7	4	12
バ レ ー 部	1	6	4	11
吹 奏 楽 部	2	6	7	15
合 計	35	53	40	128

負ける練習

『にんげんだもの』（相田みつを）の一部より抜粋

柔道の基本は受け身
受け身とは投げ飛ばされる練習
人の前でたたきつけられる練習
人の前でころぶ練習
人の前で負ける練習です

つまり、人の前で失敗をしたり
恥をさらす練習です
自分のかっこ悪さを
多くの人の前でぶざまにさらけ出す練習
それが受け身です

長い人生には
かっこよく勝つことよりも
ぶざまに負けたり
だらしく恥を
さらすことのほうがはるかに多いからです

そして
負け方や受け身の
ほんとうに身に付いた人間が
人の世の悲しみや
苦しみに耐えて
ひと（他人）の胸の痛みを
心の底から理解できる
やさしく暖かい
人間になれるんです

（以下省略）

長い人生の中では、自分の思い通りにならないことがたくさんあります。いや、思い通りにいかない方が多いのではないのでしょうか。そのような時に、一步でも前に進むことができる「たくましさ」を身に付けたいものですね。

運動関係の部活動では、勝負に負けることがあります。学習面においても点数で負けることはあります。しかし、人は負けることによって得るものがたくさんあります。むしろ、その方がその人のためになることがたくさんあります。大切なことは、「勝ち」「負け」ではないということ。失敗やミスすることから学ぶものがたくさんあるということを知ってほしいのです。だれでも、失敗をして恥をかくのは嫌なことです。でも、それを避けてばかりいると、「たくましさ」は、いつまでたっても身に付かないのではないのでしょうか。そして、他人の失敗を受け入れることができる大きな人になってほしいと思います。